

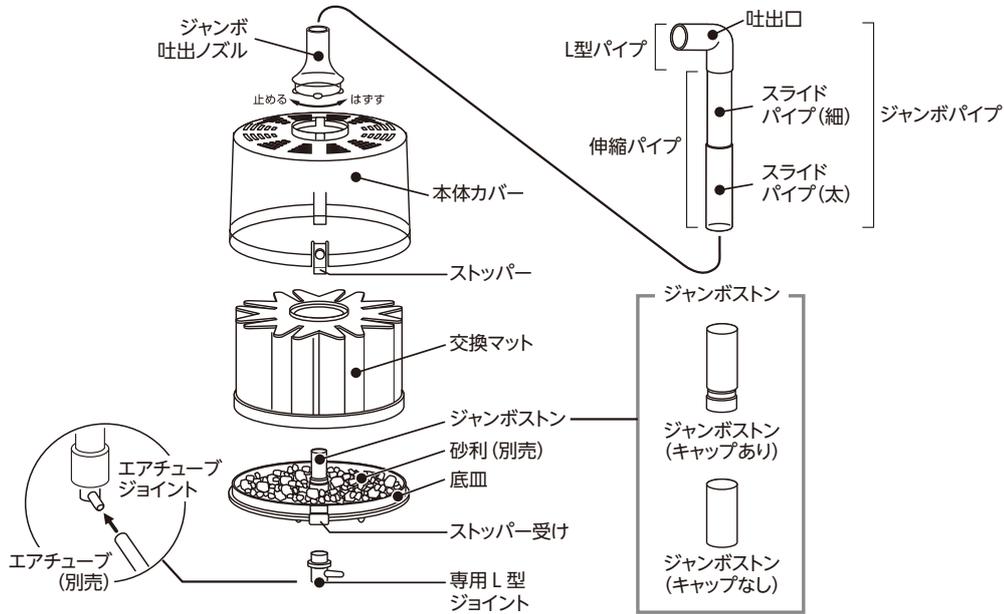
安全にお使いいただくために



お使いいただく前に説明文をよく読み、ご理解いただいてからお使いください。

- 本製品は観賞魚飼育専用です。他の目的では使用しないでください。
- セット時、魚の出し入れ、点検、掃除など水中に手を入れるときは、必ずすべての電源を切ってください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

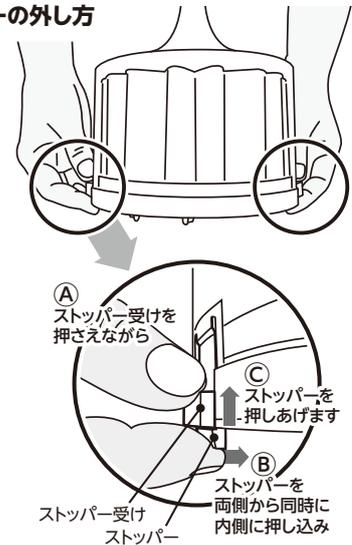
各部の名称



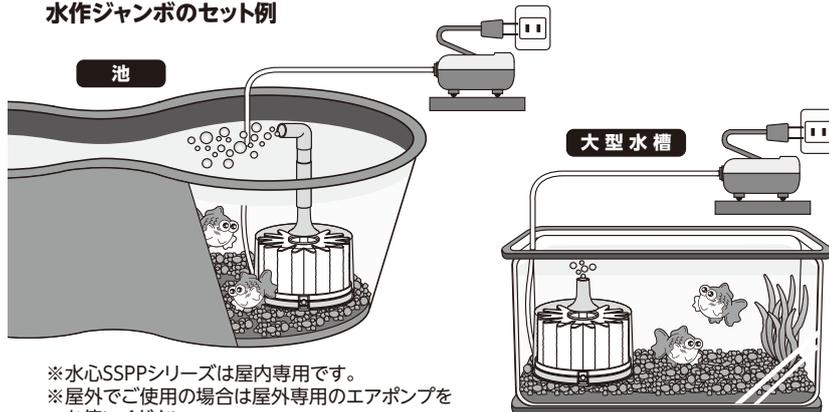
セットの順番／設置例

- ① 本体を取り出して平らな所に置き、両手を使って本体カバー両側のストッパー先端を両側から同時に内側へ押し込み、底皿のストッパー受けを押さえながら本体カバーを押し上げてください（右図参照）。
- ② 交換ろ材を取り出し、底皿に砂利やろ過材（別売）を底皿の高さより低く入れてください。砂利やろ過材は1cm位の大きさのものを使用してください。
- ③ 交換ろ材を底皿の上のせ、本体カバーを底皿に取り付けます。ストッパーが底皿にカチッとハマるまで押し込んでください。
- ④ 排出ノズルを本体カバーに取り付けてください。排出ノズルを溝に合わせ、右にひねると固定できます。
- ⑤ 必要に応じて、L型パイプを排出ノズルに取り付けてください。水位に合わせて伸縮パイプの高さを調節できます（右下図参照）。
- ⑥ 底皿裏面のジョイントにエアチューブ（別売）を繋ぎ、池や水槽の底にセットします。
- ⑦ エアチューブの片側をエアポンプ（別売）に繋ぎ、エアポンプの電源プラグを電源コンセントに差し込むと、本体より気泡が始め作動します。
(注意)エアポンプは水槽より高い位置に設置してください。低い位置に設置すると水槽内の水がエアポンプ内に逆流することがあります。

カバーの外し方

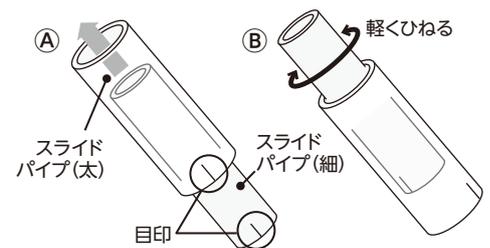


水作ジャンボのセット例



※水心SSPPシリーズは屋内専用です。
※屋外でご使用の場合は屋外専用のエアポンプをお使いください。

ジャンボパイプセット方法



- ① パイプ(太)の下からパイプ(細)を目印を合わせるように差し込み、上に抜きます。
- ② お好みの長さになったらスライドパイプを軽くひねれば固定されます。

日常のお手入れと交換

〈ろ材〉

- ろ材は定期的に水洗い、交換してください。(ろ材のくぼみにゴミがたまった頃を目安にしてください。)
- ろ材の水洗いは、本体底面の**枠から外さず**に飼育水で軽くすすぐ程度にしてください。**水道水での水洗いは塩素の影響でろ材に定着した微生物が減少します。また、洗剤は絶対に使用しないでください。**
- ろ材の交換と水換えは別々に行ってください。**同時に行くと水質が急変し、魚等が衰弱したり死んでしまう場合もあります。また、水換えは1/3程度を目安にしてください。



△ろ材メンテナンス時の注意

- ・ マットをろ材枠から外さないでください
- ・ 洗剤や水道水は使わないでください
- ・ ろ材の交換は水換えと別々におこなってください

〈プラストン〉

- エア量が減ったり、気泡が大きくなった場合はプラストンを交換してください。プラストンが目詰まりすると気泡がでなくなり、ろ過能力が低下することがあります。



正常な気泡



気泡が大きい
(粗い)

プラストンは水を十分含ませてからご使用ください。約1日で細かい気泡になります。



気泡が少ない
(細い)

プラストンの目詰まり、またはエアポンプの機能低下が考えられます。交換してください。



気泡のかたまり
が出る

ろ材や砂利が目詰まりしています。水洗い、または交換してください。

〈砂利〉

- 砂利 (ろ過材) は定期的に水洗いしてください。

- ろ材の交換は専用の「**水作ジャンボ交換ろ材**」をご利用ください。
- プラストンの交換は「**水作ジャンボ用プラストン**」をご利用ください。
- ・本製品は、別売のエアポンプとエアチューブと接続することで作動します。
- ・おもりの砂利は別売です。1~2cm程度の大きさがおすすです。
- ・製品改良のため、仕様・デザインなど、断りなく変更することがあります。ご了承ください。